

けやき歯科診療所通信

今回は、奥村所長にインタビュー形式に致しました。

Q 今回のコロナ感染問題の中、けやき歯科としてどのような方針で臨まれましたか？

A 障害のある患者さんによっては、早期の治療を希望されることがありましたので休診はせずにスタッフ、患者さんご家族の方に感染防止のための配慮をしました。幸いなことに現在まで問題なく診療できています。



奥村所長

Q 患者さんやご家族にはどのようにお知らせやお願いをされたのですか？

A 財団のHPで治療延期可能な人や交通機関での感染に不安をお持ちの方には予約の変更、電話相談のご案内を出しました。

患者さんは看護師が体温測定・手洗いうがいに加えて現在の体調および2週間以内の発熱、味覚、嗅覚の異常や海外渡航歴、更にコロナ感染が疑われる環境や人との接触の有無の聞き取りを診療の前に全員におこなっています。

Q 診療所内での感染対策は？

A 診療室内だけでなくドアノブ、待合室、回復室など頻繁に清拭・消毒し、換気にも配慮しました。治療に携わるスタッフの感染防止対策では、サージカルマスクの確保が不安でしたが、新宿区から歯科医師会を通じてけやき歯科にもマスクを配布して頂き助かりました。

治療時に口腔外バキュームを使用しましたが更に、フェイスシールド、ガウンを着用しました。

フェイスシールドは当初、高価なうえに品不足でしたが、コロナの医療現場で使われているものを100円ショップの材料で制作する動画を見つけて、自作してみたところスタッフからも好評で、口コミで他の診療所でもかなり作られました。

Q 4月からの診療実績はいかがですか。

A 4月はやはり大幅に減少しています。新宿区民の方では患者数の昨年度比で4月は36%、5月は40%、6月からは改善し98%となっています。

Q 最後に今後の診療方針についてお話し下さい

A まず、このような、中でも一緒に診療に従事していただいたスタッフ、新宿区歯科医師会協力医の先生方に感謝いたします。また、マスク、消毒用アルコール、フェイスシールド、ガウンなど御支援いただいた方々に厚く御礼申し上げます。緊急事態宣言は解除になり、社会経済活動も正常に戻りつつありますが、油断せずに感染予防に努めたいと思います。引き続きご理解ご支援賜りますようお願い申し上げます。



手製のポリ袋ガウンと
透明なフェイスシールド
を装着した栗原副会長